

実際にピオトープを見て、少しだけ生徒達と交流する事ができました。今回の授業見学で、ピオトープを観察している生徒達の目がキラキラと輝いていたのがとても印象的でした。今後はピオトープに関する生徒達からの疑問や質問等を集計し、大宮西RCから大人達からの回答と云った形で進めて行く予定です。何卒ご協力の程、宜しく願い申し上げます。尚、質問の閲覧や回答方法等については現在検討中ですので、後日ご案内させていただきます。



## 卓 話



### ■ 第 2770 地区ガバナー 細淵 雅邦 様

卓話の前に、「ロータリーの活動をサポートする事務局に」とねぎらいの言葉、プレゼントを頂戴しました。



### ■ 自己紹介

自宅、職場ともに、さいたま市浦和。  
1960年10月1日浦和生まれ、62歳になります。

2012年10月、52歳でロータリーに入会し10年。学生時代からボート、2004年2008年オリンピックチームボートの監督。2020年の東京オリンピック招致担当、2013年に開催が決定。2017年1月、国際ボート連盟(FISA)理事に選出され、運営する立場になる。

同年、2017年度浦和RCの会長に。現在は、オリンピックのレガシー、軌跡を未来に繋げていく活動。

- ・競技会場の有効利用
- ・大きな大会運営ノウハウの継承
- ・参加した選手、運営者がさらに人として成長するよう

・レガシーを考えている当事者として、大事なものは「人間としての成長」「人間力を高める」＝ロータリーの活動と同じ  
・ロータリーの主役はクラブ、それを支えるのは会員ひとりひとり

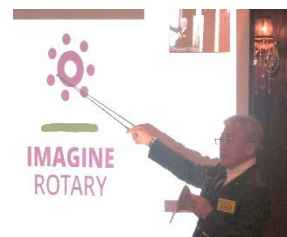
2月24日にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始されたまま、今日現在平和が戻ってきていません。我々にとり、国際理解、親善、平和はロータリーの目的にも書かれているとおり永遠のテーマであり、世界平和は人類にとり最も大切なことであると思います。本日、皆様と共に公式訪問を通じ、お互いに学びあえること、今、我々が平和に暮らしていること皆様と共に一瞬一瞬を大切に心から感謝をしたいと思えます。本日、今日、この時間、例会ご参加の

皆様と共に一瞬一瞬を大切に、共にクラブを、2770地区を、活性化していくことができ、とても嬉しく思います。

### ■ 2022-2023年度 RI 方針

RI ジェニファー・ジョーンズ会長は「会員がロータリーでどんな経験を求めているかを聞き、果たしがいのある責任を会員に与える必要があります。ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできないでしょう」と語りました。

今年度の RI テーマは  
イマジン ロータリー  
IMAGINE ROTARY



イマジン  
ロータリー

- ・環は、人々の繋がり
- ・環の周りの点は、人々
- 7つの点は ロータリーの重点施策
- ・環と点の組み合わせは、先導する星 もしくはガイドたる光
- ・緑色の線(棒)は、掘り下げる道具(難業に立ち向かう時に使う)、事業を行うための手段
- ・紫…ポリオ、緑…環境、白…平和を、全体的には新しさと力強さを表現しています。



ジェニファー・ジョーンズ会長が強く述べられた所信は2つあります。

- DEI 多様性、公平さ、インクルージョン。会員増強維持の「鍵」
- 果たしがいのある責任を会員が担えるように
  - ・会員の積極的な参加、適応と改革
  - ・会員にとりクラブの心地良さとクラブの配慮
  - ・受け身ではなく、参加型の奉仕